

ヒロセ通商株式会社
第 20 期定時株主総会 質疑応答要約

Q1.

(御質問) マイナンバーカードについて質問したい。

マイナンバーカードは、全ての金融資産に係る情報を国に報告する制度で、最近は様々な問題が報道されている。

当社の大株主には個人株主が多いと思うが、ハッカーなどに個人情報狙われて、会社の体制が変わってしまわないか懸念している。

海外では、マイナンバーカード(のようなもの)制度は、このような懸念から行わないようになっている。なぜ日本だけ行っているのが、疑問で不安だ。

当社はこの問題についてどう考えているのか。

A1.

マイナンバーカードについては、昨今ニュースなどで報道されていて、ご懸念もあるかと存じますが、当社はプライバシーマークを取得するなど、個人情報のしっかりとした管理体制があり、仕組みだけではなく、人的なミスを防ぐために、研修を行うなどもしております。その点をご安心いただけるのではないかと思います。

国の方でも今後しっかり対策をしていくと思うので、ご懸念を払拭できるように、会社としても全力で取り組みたいと考えております。

Q2.

(御質問) 大阪の主要駅で看板広告を出していると思うが、他の大都市圏でも同様の取り組みを行う予定はあるのか？

A2.

当社では主にインターネット広告を展開していて、費用対効果を見ながら進めております。昨今は貯蓄から投資という流れがあり、より幅広い層に FX を知っていただきたいという思いから、看板広告を実施いたしました。

看板広告はまだ実施し始めたばかりのところでございますので、費用対効果については現在検証中でございますが、効果をしっかり見極めた上で、必要であれば、他の大都市圏でも実施したいと考えております。

Q3.

(御質問) 対処すべき課題に、収益源の多様化、優秀な人材の確保と育成が挙げられていると思うが、取締役はずっと同じメンバーである。外部からも入ってきていない。

同じメンバーでやっている中で、新しい考え方やダイナミズムが生まれてくるのか疑問に思う。CFD 取引も、本業が好調なだけに目立たないのかもしれないが、他社と比べても、伸びていないように思う。今と同じ経営陣で、新しい収益源が確保できるのか。

優秀な人材の確保についても、従業員が 2 名減になっているところから見ても、新しい人材の採用に力を入れているわけでもないように思う。

会社の業績が良い時に、いかに人材を採用し育て、経営陣に入れて、企業価値を上げていくことが大事で、その分岐点にいるのではないかと思います。

人材についての考え方を教えていただきたい。

A3.

取締役については、創業当時から会社の拡大に向けて、様々な試みを行い、実績を出しておりますので、業界でもかなり高いレベルにいるメンバーだと認識しております。社員の中でも、新しいリーダーが増えてきておりますので、そういったことを着実に積み上げていき、今後も必要性があれば、新しい力を入れることも大事だと考えております。現時点では今の体制でしっかり数字を出せるように、今後も取り組んでいきたいと考えております。

Q4.

(御質問) 海外事業の拡大について、昨年と比べてどれだけ変わったのか、株主からは全く見えない。どれくらい拡大していて、どのような計画でやっていくのか、どれくらい投資をするのか、人材の確保はどうするのか、株主に対して説明不足な気がする。どう変わったのか、説明を願いたい。

A4.

海外事業の状況ですが、法人向けのサービスは黒字化している状況となっております。

ただ、リテールの方は課題で、現在注力している最中でございます。

海外では、誰かに資産を預けて運用してもらうスタイルが一般的で、その点が日本とは異なると、肌感覚で感じております。

そういった中で、個人の方向けにFX取引をしていただけるように啓蒙活動をするのは時間がかかりますが、マーケットも細分化しながら、国内と同等の収益源になるように、様々な取り組みを行っているところでございます。